

全国学力・学習状況調査について

1. 調査の目的

- 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

令和3年5月27日（木）

3. 調査の対象

泉佐野市立日根野小学校 第6学年，全児童

実施児童数（ 126 人）

4. 調査の内容

(1) 学力に関する調査

ア 教科は、小学校は国語及び算数，中学校は国語及び数学。

イ 出題範囲は，調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし，出題内容は，それぞれの学年・教科に関し，知識・技能に関する内容と，それらを活用する力や構想を立てて実践し評価・改善する力などに関する内容とする。

ウ 出題形式については，選択式及び短答式に加え，記述式の問題とする。

(2) 学習状況に関する調査

調査する学年の児童生徒を対象に，学習意欲，学習方法，学習環境，生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施する。

(3) 学校の取組に関する調査

調査対象の児童生徒が在籍する学校を対象に，学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査を実施する。

※平成29年度より，文部科学省から示される都道府県の平均正答率及び市町村の平均正答率は，整数となっております。

令和3年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1. 全体の傾向

・平均正答率は、全国をやや下回っている。平均正答数の全体的な分布は、全国と比べて上位層が少ない。

平均正答率（本校 60／泉佐野市 60／大阪府 63／全国 64.7）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

国語	特徴がみられた設問
<p>【書くこと】 ○目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付けることに課題がある。 2三 面ファスナーに関する【資料】を読み、メストラルは、何をヒントに、どのような仕組みの面ファスナーを作り出したのかをまとめて書く (24.6／34.4)</p> <p>○目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することに課題がある。 2四 面ファスナーに関する【資料】を読み、面ファスナーが、国際宇宙ステーションの中でどのように使われているのかをまとめて書く (23.0／29.7)</p> <p>【話すこと・聞くこと】 ○目的や意図に応じて、理由を明確にしながら、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。 3二 丸山さんの【文章の下書き】の-----部を【西田さんの話】を用いて詳しく書き直す (50.8／56.6)</p>	<p>【言葉の特徴や使い方に関する事項】 ○学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使うことに課題がある。 3三（1）ア丸山さんの【文章の下書き】の中の一部アを、漢字を使って書き直す（<u>ころがっている</u>） (61.1／78.3)</p> <p>○学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使うことに課題がある。 3三（1）ウ丸山さんの【文章の下書き】の中の一部ウを、漢字を使って書き直す（<u>つみ重ね</u>） (38.1／54.4)</p> <p>○文の中における主語と述語との関係を捉えることに課題がある。 3三（2）イ丸山さんの【文章の下書き】の中の一部イで、～～部「残されています」の主語として適切なものを選択する (52.4／67.0)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか	35.4	58.4	○	23.0
国語の勉強は大切だと思いますか	88.2	93.2	◇	5.0
国語の授業の内容はよく分かりますか	83.5	84.2		0.7
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	89.0	91.8		2.8
国語の授業では、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりしていますか	74.1	82.2	◇	8.1
国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしていますか	64.6	63.8		0.8

国語の授業では、目的に応じて、自分の考えとそれを支える理由との関係が分かるように書いたり表現を工夫して書いたりしていますか	67.7	71.6		3.9
国語の授業では、目的に応じて文章を読み、感想や考えをもったり、自分の考えを広げたりしていますか	69.3	74.3	◇	5.0
今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか	81.1	81.3		0.2
解答時間は十分でしたか（国語）	57.5	70.3	○	12.8

- 「話すこと・聞くこと」の領域において、平均正答率は全国よりも上回っている。
「読むこと」「言葉の特徴や使い方に関する事項」の領域において、平均正答率は全国よりも下回っている。
- 「国語の勉強は好き」と感じている児童の割合が低く、全国と比べて差が大きいことが課題である。
- 定着していない漢字については、言葉の理解が難しく、文の中で正しく使うことが出来ていなかったり、無解答であったりする。
- 文章や資料を読むとき、目的に応じて、中心となる語や文を見つけたり、文章と図表とを結びつけて必要な情報を見つけたりしながら読んでいる児童が少ないことが課題である。

令和3年度全国学力・学習状況調査の分析（算数）

1. 全体の傾向

- ・平均正答率は、全国とほぼ同じである。平均正答数の全体的な分布は、上位層、中下位層がやや少なく、下位層が多い。

平均正答率（本校 69／泉佐野市 68／大阪府 70／全国 70.2）

2. 学力状況調査より（本校正答率／全国正答率）

算数	特徴がみられた設問
<p>【数と計算】 ○商が1より小さくなる等分除の場面で、場面から数量の関係を捉えて除法の式に表し、計算することにやや課題がある。 4（2）8人に4Lのジュースを等しく分けるときの一人分のジュースの量を求める式と答えを書く（50.0／55.5）</p> <p>【図形】 ○三角形の面積の求め方について理解することに課題がある。 2（1）直角三角形の面積を求める式と答えを書く（40.5／55.1） ○複数の図形を組み合わせた平行四辺形について、図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて、面積の求め方と答えを記述することにやや課題がある。 2（3）二等辺三角形を組み合わせた平行四辺形の面積の求め方と答えを書く。（57.1／46.0）</p>	<p>【測定】 ○条件に合う時刻をもとめることが概ねできている。 1（4）午後1時35分から50分後の時刻を書く（87.3／89.2）</p> <p>【変化と関係】 ○速さと道のりをもとに、時間を求める式にあらわすことが概ねできている。 1（5）分速540mのバスが2700mを進むのにかかる時間を求める式を書く（83.3／85.1）</p> <p>【データの活用】 ○棒グラフから項目間の関係を読み取ることが概ねできている。 3（2）学年ごとの本の貸し出し冊数について、棒グラフから分かることを選ぶ（93.7／90.7）</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
算数の勉強は好きですか	71.6	67.8		3.8
算数の勉強は大切だと思いますか	91.4	93.8		2.4
算数の授業の内容はよくわかりますか	89.0	84.6		4.4
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出た時に役に立つと思いますか	91.3	92.6		1.3
算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか	71.6	73.9		2.3
算数の問題の解き方がわからないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	85.0	82.7		2.3
算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	89.0	89.0		0
算数の授業で問題の解き方や考え方がわかるようにノートに書いていますか	85.8	91.9	◇	6.1

今回の算数の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。それらについてどのように解答しましたか	81.9	79.9		2.0
解答時間は十分でしたか	81.9	81.7		0.2

○計算などはできるが、問題の解き方や考え方を問われる問題には課題がある。

○三角形や平行四辺形の底辺と高さの関係の理解に課題がある。

○被除数にあたる数と除数にあたる数を判断して式に表すことに課題がある。

令和3年度全国学力・学習状況調査の分析（児童質問紙より）

本校の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。(たとえば、1. 当てはまる 2. どちらかと言えば当てはまる 3. どちらかと言えば、当てはまらない 4. 当てはまらない)

また、それ以外の質問は特徴的な事柄を取り出し、それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差があるものの中で、特徴的な項目を列挙した。さらに、下線部に関しては、10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きく特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本校 < 本校回答率 / 全国回答率 >
【家庭生活の様子】	<ul style="list-style-type: none"> ○普段、読書をしない児童の割合が高い。 ○地域行事に参加している児童の割合が低い。 ○学校が休みの日に勉強をする時間が1時間未満の児童が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。 <10分未満 44.8/38.7> ○今住んでいる地域の行事に参加していますか。 <54.3/41.8> ○学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。(学習塾、家庭教師、インターネット活用を含む) <1時間未満 46.5/39.1>
【自分自身について】	<ul style="list-style-type: none"> ○自分にはよいところがあると思っている児童の割合が高い。 ○自分と違う意見について考えることが楽しいと思っている児童の割合が低い。 ○地域や社会をよくするために何をすべきかを考える児童の割合が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分には、よいところがあると思いますか。 <82.7/76.9> ○自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。 <60.6/70.1> ○地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。 <44.1/52.4>
【学校での学習の様子】	<ul style="list-style-type: none"> ○ICTを活用していると思う児童の割合が低い。 ○ICTを、他の友だちと意見を交換したり、調べたりするために活用していると思う児童の割合が低い。 ○学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思う児童の割合が低い。 ○学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいると思う児童の割合が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○5年生までに受けた授業で、コンピューターなどのICT機器をどの程度使用しましたか。 <14.2/40.01> ○あなたは学校で、コンピューターなどのICT機器を、他の友だちと意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか。 <13.3/39.0> ○あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。 <59.1/73.4> ○学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか。 <67.7/73.5>

本校の取組

◎これまでの取組

【学習について】

① 伝える力を高める研究

「高めよう伝える力」を研究主題とし、全ての教科の授業で、自分の考えを豊かに表現できる力、目的に応じて説明できる力の育成をめざす。また、伝える力を高めるための授業づくりや指導方法の在り方についての学校全体で研究に取り組む。

② 表現力の育成

「日根野授業スタンダード」を作成し、全ての教科の授業で、自分の考えを文章で書く時間「書きタイム」、自分の考えを相手に伝える時間「伝えタイム」の活動を取り入れ、表現力の育成に取り組む。

③ 書きチャレの実施

学校全体で書く・話す力を高めるために、「ことばのカプリント」（府教委作成）を活用した「書きチャレ」の授業に取り組み、言語能力の向上につなげる。今年度は「話す・聞く」に重点を置いて取り組む。

④ TT、少人数・習熟度別授業

算数科において、学習内容に応じて少人数・習熟度別授業を実施する。教師一人に対しての児童数を減らすことで、よりきめ細やかな指導を行う。

⑤ 授業規律の確立

「チャイム着席」

授業チャイムが鳴ったときに、席に座って静かに待つ態度を身に付ける。

「正しい姿勢」

背中は「ピンツ」、足は「ピタツ」、つくえとおなかの間は「ゲー」一つの座り方の定着を図る。

【生活について】

① 家庭学習強化週間「放課後の過ごし方」

学期の初めに、家庭での過ごし方（学習面や生活面）においての目標を立て、保護者の方と一緒に取り組む。

◎これからの取組

【学習について】

〈国語〉

- ・漢字の定着において課題が見受けられるので、朝学やモジュールの時間を活用し、確実な定着を図る。
- ・文章や資料を読む際の読み方に課題が見受けられるので、朝学の時間を活用し、新聞などの長い文章から、必要な情報だけを読み取る練習を行う。
- ・主語・述語などの関係を捉えることに課題が見受けられるので、授業で書くときや話すときに、簡潔に正しく文を作るよう日頃から意識する機会を作る。
- ・国語の勉強に対する意識に課題が見受けられるので、児童が「やりたい」「できた」と思える授業づくりのための教材研究を行う。

〈算数〉

- ・問題の解き方や考え方を問われる問題に課題が見受けられるため、授業の中で、低学年では具体物や絵、中学年では図、高学年では数直線を用いるなど発達段階に応じた方法で、問題を捉える練習を行う。
- ・問題文が長くなると、誤答が増加するといった課題が見受けられるので、問題文をしっかりと読み、大切な数字、聞かれていること、答えの単位や問題の意図をつかむ練習を行う。

〈質問紙〉

- ・ICTの活用について課題が見受けられるので、PCを用いて、調べ学習を積極的に行うなど、児童がICTに触れる機会を多く設定する。
- ・読書の習慣において課題が見受けられるので、本に慣れ親しむために、読書の宿題を取り入れたりと、朝

学で新聞や本を読む機会を作ったりする。

- ・学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めることにおいて課題が見受けられるので、学級目標について月1回学級で意見を出し合うなど、教科以外でも伝え合う機会をとるようにする。
- ・家庭学習の習慣が定着していないことに課題が見受けられるので、学年に応じて自主学習ノートに取り組み、家庭と連携して子どもたちが家庭での学習の習慣を身につけられるよう促していく。